

案件化調査

ベトナム国 社会資本整備の維持管理能力向上を目的とした橋梁長寿命化修繕計画策定システム導入及びノウハウ普及に関する案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社COM-ONE
- 提案企業所在地：石川県能美市
- サイト・C/P機関：ベトナム国・DRVN (MOT・RRMU・PDOT)

ベトナム国の開発課題

- ベトナム国は現在経済成長を遂げる一方で、橋梁の老朽化が進行しており、将来的に修繕費用の膨大化、修繕時期の集中が懸念される
- ベトナム国国道の現行システムでは事後保全型管理による短期的な修繕計画に限られており、予防保全型管理による中長期的な修繕計画策定技術が確立されていない
- 過積載による落橋事故や老朽化等の橋梁の維持管理に対する問題意識が低い
- 橋梁の維持管理に関する組織体系が構築されていない

中小企業の技術・製品

- 橋梁長寿命化修繕計画策定システムI-BIMSの提供 (システムの機能)
 - ①健全度評価機能 ②劣化予測機能
 - ③ライフサイクルコスト(生涯費用)解析・縮減機能
 - ④予算の平準化機能 等
- 本製品を利用した予防保全型による短期的および中長期的な長寿命化修繕計画の策定技術
- 橋梁技術者の育成(橋梁点検資格者制度の提案)
- 橋梁の維持管理体系の提案

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

■ ODA事業：「民間提案型普及・実証事業」(技術支援)

- 橋梁の予防保全型管理手法について、先進事例及びシステム等による啓発活動を行う
- ベトナム国の特性を踏まえた予防保全型管理手法システムを開発し、一部の国道橋についてシステムの有効性を検証すると共に、運用に必要な技術を供与(人材育成・技術移転)する

■ 期待される効果：橋梁の安全管理ならびに長寿命化による維持管理予算の縮減および 予算の平準化

日本の中小企業のビジネス展開

- 3年間は、上記の活動を通じて、橋梁予防保全型管理手法の導入による有効性の認知度向上を促し、橋梁劣化に対する危機意識の醸成を図る。
- 4年目以降は、現地法人設立を含む本格的な事業展開を実施し、採算性を確保しASEAN諸国への事業展開の布石を打つ

